

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム「ふる里の風」

作成日: 令和 8年 5月 1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3・20	地域との関わりの創出	地域の夏祭り等への参加、地域イベントに参加し、地域との繋がりや関わりを持つ。また認知症カフェが開催されれば参加する。	地域運営推進会議等を通じて、町内行事の把握および参加依頼をおこなう。また地域包括支援センター主催の地域イベントの把握および参加依頼をおこなう。	12ヶ月
2	19	家族と一緒に参加できるレクが少ないこと。また、画像や映像で様子を伝えることはできても、制作物など、“物”を見て頂き、日頃の取り組みを感じてもらう機会が少ない	夏祭りのような体験参加ではなく、制作物など何かを作った・取り組んだ成果を披露する場を作る。文化祭のような形で、秋に家族参加のイベントを企画立案おこなう。	脳トレなど日頃のレクに加え、制作物のレクを実施する(それぞれのレベルに合わせて)。また、制作の様子を写真に撮り貯め、文化祭(仮)の際にスライドショーなどで放映し、制作過程も見ていただく。	6ヶ月
3	50	買い物(自分で選び、お金を払う)機会がほとんどないこと。 ※令和6年度からの継続課題	自分で選択できる機会を作る	お金ではなく、ポイントなどが貯まる仕組みを作り、貯めたポイントで、自分で選び、何かと交換する機会の創出。(お金で買物は管理等を含めて、すぐには難しいため)	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。